

(学生記入欄)

【授業計画の説明】実施状況を記入してください。

【理解の度合】理解の度合について記入してください。
(記入例) ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。

・前期中間試験まで：

・前期末試験まで：

・後期中間試験まで：

・学年末試験まで：

【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。
(記入例) ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。

・前期中間試験 点数：総評：

・前期末試験 点数：総評：

・後期中間試験 点数：総評：

・学年末試験 点数：総評：

【総合到達度】「到達目標」どおりに達成することができたかどうか、記入してください。
・総合評価の点数：総評：

(教員記入欄)

【授業計画の説明】実施状況を記入してください。

【授業の実施状況】実施状況を記入してください。
・前期中間試験まで：

・前期末試験まで：

・後期中間試験まで：

・学年末試験まで：

【評価の実施状況】総合評価を出した後に記入してください。

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング

☐ ICT 利用

☒ 遠隔授業対応

☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業計画・内容の説明、建築物に働く力	建築物に働くさまざまな力、力学的に見た建築物について理解する。
		2週	力の基本－1	力の表し方、力のモーメントを理解する。
		3週	力の基本－2	力の合成と分解、釣合いを理解する。
		4週	構造物と荷重および外力－1	支点と節点、荷重および外力を理解する。
		5週	構造物と荷重および外力－2	支点と節点、荷重および外力を理解する。
		6週	反力－1	反力の求め方を理解する。
		7週	反力－2	反力の求め方を理解する。
		8週	前期中間試験	1週から7週までの内容を理解する。
	2ndQ	9週	前期中間試験における、試験答案の返却及び解説	前期中間試験の内容を理解する。また、ポートフォリオを記入する。
		10週	安定・不安定、静定・不静定－1	構造物の安定・不安定、構造物の静定・不静定を理解する。
		11週	安定・不安定、静定・不静定－2	構造物の安定・不安定、構造物の静定・不静定を理解する。
		12週	構造物に生じる力－1	構造物に生じる力の種類を理解する。
		13週	構造物に生じる力－2	部材に生じる軸方向力の求め方と表し方を理解する。
		14週	構造物に生じる力－3	部材に生じるせん断力・曲げモーメントの求め方と表し方を理解する。
		15週	構造物に生じる力－4	部材に生じるせん断力・曲げモーメントの求め方と表し方を理解する。
		16週	前期末試験 (17週目は、前期末試験の試験答案の返却・解説及びポートフォリオの記入)	前期末試験の内容を理解する。また、ポートフォリオを記入する。
後期	3rdQ	1週	構造物に生じる力－5	部材に生じるせん断力・曲げモーメントの求め方と表し方を理解する。
		2週	静定梁（単純梁）－1	単純梁に集中荷重が作用する場合を理解する。
		3週	静定梁（単純梁）－2	単純梁に等分布荷重が作用する場合を理解する。
		4週	静定梁（単純梁）－3	単純梁にモーメントが作用する場合を理解する。
		5週	静定梁（片持梁）－1	片持梁に集中荷重が作用する場合を理解する。

		6週	静定梁（片持梁）－ 2	片持梁に等分布荷重が作用する場合を理解する。
		7週	静定梁（片持梁）－ 3	片持梁にモーメントが作用する場合を理解する。
		8週	後期中間試験	1 週から 7 週までの内容を理解する。
	4thQ	9週	後期中間試験における、試験答案の返却及び解説	後期中間試験の内容を理解する。また、ポートフォリオを記入する。
		10週	静定ラーメン－ 1	片持梁系ラーメンの解法を理解する。
		11週	静定ラーメン－ 2	片持梁系ラーメンの解法を理解する。
		12週	静定ラーメン－ 3	単純梁系ラーメンの解法を理解する。
		13週	静定ラーメン－ 4	単純梁系ラーメンの解法を理解する。
		14週	静定ラーメン－ 5	3 ピン式のラーメンの解法を理解する。
		15週	静定ラーメン－ 6	3 ピン式のラーメンの解法を理解する。
		16週	学年末試験 (17週目は、学年末試験の試験答案の返却・解説及びポートフォリオの記入)	学年末試験の内容を理解する。また、ポートフォリオを記入する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	構造	建築構造の成り立ちを説明できる。	2	前1,前8,前9
				建築構造(W造、RC造、S造、SRC造など)の分類ができる。	2	前1,前8,前9
				力の定義、単位、成分について説明できる。	2	前2,前8,前9
				力のモーメントなどを用い、力のつり合い(合成と分解)に関する計算ができる。	2	前2,前3,前8,前9
				骨組構造物の安定・不安定の判定ができる。	2	前10,前11,前16
				骨組構造物に作用する荷重の種類について説明できる。	2	前4,前5,前6,前7,前8,前9,前12
				はりの支点の種類、対応する支点反力、およびはりの種類やその安定性について説明できる。	2	前6,前7,前8,前9
				はりの断面に作用する内力としての応力(軸力、せん断力、曲げモーメント)、応力図(軸力図、せん断力図、曲げモーメント図)について説明することができる。	2	前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10
				はり(単純はり、片持ちはり)の応力を計算し、応力図を描くことができる。	2	前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10
				ラーメンやその種類について説明できる。	2	前12,前13,前14,前15,前16
ラーメンの支点反力、応力(軸力、せん断力、曲げモーメント)を計算し、その応力図(軸力図、せん断力図、曲げモーメント図)をかくことができる。	2	後1,後8,後11,後12,後13				
構造物の安定性、静定・不静定の物理的意味と判別式の誘導ができ、不静定次数を計算できる。	2	前10,前11,前16				